

鈴木商店調査書「天満織物株式会社」（原書 P123～128）

大阪市北区天満橋筋西一丁目

設立 明治 廿^{にじゅう} 年三月

目的 綿糸布製造販売

資本金 五百萬円也（払込貳百七拾五萬円也）

重役氏名

取締役社長 藤井善助 専務取締役 岡 幸次郎

取締役 戸田猶蔵 監査役 宮川彦一郎

監査役 戸田榮蔵 監査役 野田廣三郎

沿革 現状

同社は明治 廿^{にじゅう} 年三月、資本金五拾萬円を以て設立し、綿糸布の製造を目的とせるが、爾来^{じらい}幾度か経営難に陥り、或は社債を発行し、或は優先株を募集し、或は重役の内訌^{ないこう}等幾多の波瀾曲折を経、年を閲^{けみ}すると共に漸く進境^{しんきよう}を示し来りしも、日露戦役後の好況時代に経営方針を誤まり、多大の困難を感じしも辛^{かろ}ふじて難関を切り抜け、大正三年欧州戦乱突発以来、財界の活躍に連れ漸く回春^{かいしゅん}の曙光^{しよくこう}を認め、翌四年遂に優先株を普通株に引直し、資本を貳百萬円に増資^{ひたすら}し只管発展に努力し来りしが、五年度に入り益々好況を呈し、各方面の注文輻輳^{ふくそう}せるのみならず、露国行カーキー色小倉服地^{こくちやくくじ}の注文を引受け相当の収益を収め、五年十二月株主総会に諮り資本金を五百萬円に増加せり。

爾来^{じらい}工場宿舍等の改築を為し、前期末より漸次到着の紡機、織機^{そのた}其他の緒機械大部分据付を了し、本年六月上旬より運転を開始せり。

而^{しかう}して、本年上半期に於ける就業日数百六拾二日にして、此^{この}生産高、綿布九百六十二萬四千參百八十八碼、此^{このたん}反数二十五萬千三百四拾反、製糸高三拾六萬八千四百六拾六貫四拾^{もんめ}匁、一日生産額平均製布千五百五拾反内外を計上せり。

本年上半期決算左の通り

(単位：円)

資 産 之 部		負 債 之 部	
未払込資本金	2,250,000.00	資本金	5,000,000.00
地所	348,702.00	社債金	500,000.00
建物	815,979.00	積立金	750,000.00
機械	1,136,474.00	別途積立金	155,000.00
什器	13,642.00	社員恩給基金	27,500.00
紡織準備品在高	88,510.00	職員恩給	10,000.00
原棉在高	1,372,509.00	職工預り金	10,000.00
製布在高	42,670.00	保証金	19,740.00
製糸半製品在高	17,908.00	支払手形	517,650.00
製布半製品在高	39,081.00	仮受金	106,178.00
有価証券	19,148.00	買掛代金	1,154.00
仮出金	272,645.00	未払配当金	673.00
売掛代金	99,326.00	前期繰越金	99,590.00
受取手形	5,767.00	当期利益金	264,324.00
銀行預金	888,655.00		
金銀在高	369.00		
合計金	7,410,578.00	合計金	7,410,578.00

損益決算

金 貳拾六萬四千三百貳拾四円也 当期利益金

同 九萬九千五百九拾円也 前期繰越金

合計 参拾六萬三千九百拾四円也

内

金 壹萬五千円也

積立金

金 貳萬円也

別途積立金

金 五萬円也

機械建物減価償却金

金 五千円也

社員恩給基金

金 五千円也

職工恩給基金

金 壹萬参千貳百円也

役員賞与金

金 拾四萬九千円也

株主配当金（旧株 年一割二分 特別 年二分）

金 拾萬六千七百拾四円也

後期繰越金